



准教授
山本晃輔

経歴

2009年 奈良教育大学教育学部 特任専任講師
2012年 奈良教育大学教育学部 特任准教授
2013年 大阪産業大学人間環境学部 専任講師
2016年 大阪産業大学人間環境学部 准教授

を経て現職

ノスタルジー感情を喚起させる味覚刺激と購買行動との関係性に関する心理学的研究

問題と目的

日常、匂いとの遭遇を契機として、その匂いと関連する過去の出来事をふと思い出すことがある。このような現象は一般的にプルースト現象と呼ばれ、過去の出来事の記憶である自伝的記憶(*autobiographical memory*)を中心とした研究がこれまで行われてきた(e.g., 山本, 2015)。なかでも、プルースト現象が思い出そうという意図を伴わない想起事態であることから、無意図的想起(*involuntary remembering*)の観点からの研究が行われ、注目を集めている(e.g., 山本, 2008)。たとえば、山本(2008)は日誌法を用いて日常場面での嗅覚刺激による無意図的想起に関するデータを収集し、その特徴を探った。その結果、情動的でかつ追体験感覚を伴った自伝的記憶が多く想起されること等が示されている。

プルースト現象が本来は味覚刺激を契機としたものであるという指摘(Jellinek, 2004)や、味覚と嗅覚との密接な関連性(坂井, 2013)を考慮すると、味覚刺激によっても同様の現象が生起されることが予測される。これに関して、山本(2017, 2018)は食事場面における無意図的想起について日誌法を用いた検討を行った。その結果、参加者の約8割が食事場面での無意図的想起経験を報告し、そこで想起された自伝的記憶は全体的に感情喚起度が強くかつ快であり、想起頻度は少なく、鮮明な出来事が多かった。また、手がかりとなった食品におけるノスタルジー感情喚起度が自伝的記憶の鮮明度や感情的特性等と関連すること、さらに高齢者が若年者よりもノスタルジー感情喚起度が高いことなどが示された。このように、味覚刺激を中心とする食品摂取場面での自伝的記憶の想起ではノスタルジー感情が重要であるが、従来の研究ではどのような食品がノスタルジー感情を喚起させるのかについて十分に検討されていない。そこで本研究では、調査1としてノスタルジー感情を喚起

させる食品について項目を収集し、ノスタルジー感情喚起度等の認知的特性およびそれらと自伝的記憶特性との関係性について検討する。また近年報告されているノスタルジー感情が購買行動を促進させるといった知見(牧野, 2014)に従い、食品から喚起されるノスタルジー感情と購買行動との関連性についても検討する。続く調査2では、20代と60代の参加者を対象に、調査1で収集された項目について、ノスタルジー感情喚起度等の認知的特性を評価させ、ノスタルジー感情を喚起させる食品における世代差について検討する。

調査1

方法

倫理審査 本研究における調査1および2は日本心理学会倫理規程に基づいて計画されたうえで、大阪産業大学研究倫理審査委員会の承認(2017-人倫-006)を受け、実施された。

参加者 インターネットリサーチ会社の登録会員である20代から60代の男女計600名($M=44.99, SD=15.84$)が同意のうえ参加した。研究協力の謝礼として、調査会社規定に従い、参加者にはポイントを付与した。

手続き 調査はWEB上で行われた。「あなたがなつかしいと感じる食べ物はどうなのですか。」と問い、第1位から第10位までを自由記述させた。第1位である食品について、ノスタルジー感情喚起度(その食べ物から感じるなつかしさはどの程度ですか。1=きわめて弱い~5=きわめて強い)、摂取頻度(その食べ物を日常どの程度摂取しますか。1=ほとんど摂取しない~5=非常によく摂取する)、好意度(その食べ物の味は好きですか。1=とても嫌い~5=とても好き)、購買意欲(その食べ物が売られているのを見ると買いたいと思いますか。1=まったく買いたいと思わない~5=とても買いたいと思う)の評定を求めた。また、自伝的記憶に関して、「その食べ物のことを考えたときに、過去の出来事が思い出されますか。」と問い、思い出された場合には鮮明度(その出来事の記憶はどの程度はっきりしていますか。1=ぼんやりとしている~5=はっきりしている)、快不快度(その出来事の記憶全体の印象はよいですか。1=よくない~5=よい)、ノスタルジー感情喚起度(その出来事から感じるなつかしさはどの程度ですか。1=きわめて弱い~5=きわめて強い)、購買意欲(その出来事を思い出すことでその食べ物を買いたいと思いますか。1=まったく買いたいと思わない~5=とても買いたいと思う)について評定を求めた。

結果と考察 参加者の全員が1つ以上の食品項目について記述を行った。収集された項目の認知的特性を明らかにするために、各評定平均値を算出し、基準点を3とする1サンプルの*t*検定($df=599$)を行った。その結果、いずれも有意($p<.001$)であり、「なつかしいと感じる食べ物」として記述された項目のノスタルジー感情喚起度は高く($M=3.83, SD=0.88, t=23.18$)、摂取頻度は少なく($M=1.64, SD=0.87, t=38.39$)、好意度は高く($M=4.31, SD=0.82, t=39.61$)、購買意欲は高かった($M=3.79, SD=0.98, t=19.95$)。また、記憶の想起について「思

い出せない」と回答した人数は 30 名であり、全体的な自伝的記憶の想起率は 94.74%と極めて高かった。自伝的記憶の特性に関する評定平均値を算出し、基準点を 3 とする 1 サンプルの t 検定($df=569$)を行った。その結果、いずれも有意($p<.001$)であり、想起された自伝的記憶の鮮明度は高く($M=3.43, SD=1.28, t=8.06$)、快であり($M=4.17, SD=0.93, t=30.18$)、ノスタルジー感情喚起度が高く($M=3.96, SD=0.82, t=28.03$)、購買意欲は高かった($M=3.74, SD=1.01, t=17.39$)。各評定平均値間の関連性をみるために、Pearson の相関分析を行った結果が Table 1 である。食品から喚起されるノスタルジー感情が高いほど、好意度や購買意欲が高いことがわかった。また記憶との関連性に注目すれば、食品のノスタルジー感情喚起度が高いほど、想起される自伝的記憶は鮮明でかつ快であり、記憶それ自体のノスタルジー感情喚起度が高くなることがわかった。従来の研究と同様に、ノスタルジー感情が購買意欲や記憶の想起特性と関連することが示唆された。

Table 1 各評定値間の相関分析結果

	1	2	3	4	5	6	7	8
1. 食品ノスタルジー喚起度	1							
2. 摂取頻度	-.01	1						
3. 好意度	.31**	.16**	1					
4. 食品購買意欲	.22**	.07	.44**	1				
5. 記憶鮮明度	.22**	.04	.12*	.12**	1			
6. 快不快度	.31**	-.01	.38**	.24**	.27**	1		
7. 記憶ノスタルジー喚起度	.53**	.00	.34**	.27**	.38**	.55**	1	
8. 記憶購買意欲	.24**	.08	.35**	.74**	.17**	.36**	.41**	1

※** $p<.001$, * $p<.005$

調査 2

参加者 インターネットリサーチ会社の登録会員で、調査 1 には参加していない 20 代($M=25.92, SD=2.47$)と 60 代($M=64.32, SD=3.03$)の男女それぞれ 100 名ずつ、計 400 名が同意のうえ参加した。ポイントの付与等は調査 1 と同様であった。

手続き 調査は WEB 上で行われた。調査 1 における 20 代と 60 代の参加者を対象に、ノスタルジー感情を喚起させる食品項目の選定を行った。分析には SPSS Text Analytics for Surveys によるテキストマイニングを用いた。頻出度が 5 ケース以上であった項目を対象に、世代群で項目数を調整したうえで、最終的に 40 項目(Table 2, Table 3 参照)を選定した。これらについて、調査 1 と同様にノスタルジー感情喚起度と好意度を 5 段階評定で求めた。ノスタルジー感情喚起度の評定では、「その食べ物を知らない・食べたことがない」とい

う選択肢を設け、その選択肢を選んだ場合、それ以降当該の食品については評定を求めないように WEB 上で設定を行った。また、摂取頻度については現在(この食べ物を現在のどの程度の頻度で食べますか。1=2 年以上食べていない~5=1 週間に 1 回以上)と過去(この食べ物を幼少期にどの程度の頻度で食べていましたか。1=2, 3 年に 1 回以下~5=1 週間に 1 回以上)の両方について尋ねた。さらに、食品から喚起される快不快感情についても 5 段階評定を求めた(現在, その食べ物を食べた時に, 快く感じますか。それとも不快に感じますか 1=とても不快~5=とても快い)。

結果と考察 20 代と 60 代の参加者ごとに、各項目の回答数(ノスタルジー感情喚起度の評定において「その食べ物を知らない・食べたことがない」を選択しなかった人数)および評定平均値を算出した。項目ごとの各評定平均値について、20 代と 60 代の差異を検討するため *t* 検定を行った(Table 2, Table 3)。その結果、多くの項目で評定平均値に有意な世代差が確認された。ノスタルジー感情喚起度に注目し、上位から 5 項目を挙げるとすれば、20 代では「ミルク」、「ビックリマンチョコ」、「ブタメン」、「水飴」、「ポン菓子」、60 代では「クジラ肉」、「ポン菓子」、「水飴」、「金平糖」、「ラムネ」であった。20 代で 1 位であった「ミルク」に注目すれば、20 代が 60 代よりもノスタルジー感情喚起度、好意度、過去の摂取頻度、快感情喚起度が高いことがわかった。一方、60 代で 1 位であった「クジラ肉」では、60 代が 20 代よりもノスタルジー感情喚起度、過去の摂取頻度、快感情喚起度が高いことがわかった。調査 1 の自由記述をもとに考察すると、「ミルク」および「クジラ肉」はいずれも小学生や中学生の時の給食で一定程度以上の回数接触し、卒業後に接触回数が低下したものと推測される。これらの検討から、ノスタルジー感情を喚起させる食品項目が示され、またそれらには世代差があることが示唆された。

要約と今後の課題

本研究では、ノスタルジー感情を喚起させる味覚刺激について調査的検討を行った。調査 1 では、「なつかしい食べ物」はノスタルジー感情喚起度、好意度、購買意欲が高く、現在の摂取頻度は少ないこと、また、その食品から想起される記憶は多く、鮮明でかつノスタルジー感情喚起度が高く、快感情を伴った出来事が多いこと、ノスタルジー感情喚起度が高い食品ほど購買意欲が高くなることが示唆された。調査 2 では、調査 1 から収集された「なつかしい食品」40 項目について認知的特性を調べた結果、20 代では「ミルク」、60 代では「クジラ肉」がもっともノスタルジー感情を喚起させること、それらの食品は幼少期に摂取頻度が多かったこと、現在でも摂取時に快な感情が喚起されやすいこと等が示唆された。今後はこれらの項目を刺激材料リストとして、実際の食品を使用した実験を行い、ノスタルジー感情が喚起される認知メカニズムについて検討を行う必要がある。

Table 2 20代と60代における回答数, ノスタルジー感情喚起度, 好意度の平均値および分析結果

項目	回答数		ノスタルジー感情喚起度				好意度			
	20代	60代	20代	60代	<i>t</i>	<i>p</i>	20代	60代	<i>t</i>	<i>p</i>
1. キャベツ太郎	193	69	3.18	2.62	3.25	0.00	3.36	2.77	4.58	0.00
2. ヨーグル	181	155	2.97	2.50	3.31	0.00	3.37	3.19	1.91	0.06
3. カレー	200	199	1.64	2.21	5.79	0.00	4.22	4.02	2.34	0.02
4. ビックリマンチョコ	175	120	3.22	3.04	1.17	0.25	3.36	2.89	4.93	0.00
5. よっちゃんイカ	183	107	3.03	2.93	0.67	0.50	3.31	3.09	1.72	0.09
6. うまい棒	200	180	2.48	2.50	0.21	0.84	3.56	2.86	7.73	0.00
7. みそ汁	199	199	1.63	2.32	6.79	0.00	4.03	3.86	1.91	0.06
8. 肉じゃが	199	199	1.76	2.41	6.29	0.00	4.03	3.93	1.08	0.28
9. カール	198	195	2.47	2.47	0.03	0.98	3.37	3.11	2.98	0.00
10. ブタメン	182	67	3.20	2.42	4.21	0.00	3.52	2.82	5.34	0.00
11. きなこ棒	172	149	3.19	3.01	1.26	0.21	3.44	3.05	3.61	0.00
12. ソフト麺	150	132	3.07	2.68	2.42	0.02	3.46	2.92	5.56	0.00
13. チロルチョコ	197	175	2.34	2.87	4.31	0.00	3.86	3.32	6.08	0.00
14. ガム	200	199	1.64	2.17	5.55	0.00	3.39	2.96	4.93	0.00
15. アイススクリーム	200	200	1.72	2.22	4.90	0.00	4.33	4.10	2.78	0.01
16. 揚げパン	192	192	3.03	2.83	1.60	0.11	3.73	3.36	4.06	0.00
17. ナポリタン	198	199	1.98	2.54	5.15	0.00	3.57	3.71	1.59	0.11
18. ポン菓子	162	178	3.20	3.37	1.31	0.19	3.22	3.20	0.27	0.79
19. ベビースターラーメン	199	182	2.42	2.70	2.38	0.02	3.67	2.86	9.30	0.00
20. おにぎり	199	200	1.68	2.31	6.21	0.00	4.08	3.89	2.27	0.02
21. コロッケ	200	199	1.74	2.31	5.56	0.00	3.79	3.87	0.92	0.36
22. ラムネ	200	199	2.70	3.08	3.11	0.00	3.44	3.21	2.54	0.01
23. 水飴	185	198	3.20	3.23	0.22	0.83	3.03	2.98	0.54	0.59
24. 卵焼き	199	198	1.77	2.32	5.19	0.00	3.97	3.98	0.06	0.96
25. 唐揚げ	199	198	1.63	2.24	6.23	0.00	4.42	3.76	7.64	0.00
26. キャラメルコーン	196	197	2.16	2.51	3.27	0.00	3.42	3.22	2.16	0.03
27. ラーメン	199	199	1.57	2.22	6.69	0.00	4.27	3.82	5.25	0.00
28. パピコ	195	120	2.19	2.54	2.68	0.01	3.82	3.14	6.58	0.00
29. スモモ	167	179	2.45	2.80	2.82	0.01	3.10	3.03	0.62	0.54
30. 飴玉	193	196	2.03	2.53	4.52	0.00	3.39	3.01	4.84	0.00
31. 煮物	199	200	1.80	2.41	5.85	0.00	3.74	3.84	1.13	0.26
32. 麩菓子	183	176	2.93	3.06	1.03	0.30	3.03	3.02	0.10	0.92
33. 金平糖	192	195	2.89	3.14	2.07	0.04	3.14	2.99	1.62	0.11
34. クジラ肉	119	195	2.53	3.75	8.43	0.00	3.08	3.25	1.39	0.17
35. せんべい	199	199	1.86	2.31	4.30	0.00	3.63	3.76	1.53	0.13
36. キャラメル	199	200	2.09	2.58	4.41	0.00	3.42	3.29	1.37	0.17
37. パン	200	198	1.63	2.24	6.33	0.00	4.01	3.80	2.59	0.01
38. すき焼き	198	199	1.63	2.36	7.29	0.00	4.19	4.04	1.66	0.10
39. おはぎ	195	200	2.15	2.53	3.47	0.00	3.46	3.77	3.02	0.00
40. ミルメーク	146	66	3.66	2.85	4.37	0.00	3.41	2.92	3.33	0.00
全体平均値	188.55	175.18	2.36	2.63			3.61	3.37		

Table 3 20代と60代における摂取頻度と快不快感情の平均値および分析結果

項目	摂取頻度 (現在)				摂取頻度 (過去)				快不快感情			
	20代	60代	<i>t</i>	<i>p</i>	20代	60代	<i>t</i>	<i>p</i>	20代	60代	<i>t</i>	<i>p</i>
1. キャベツ太郎	1.76	1.52	1.82	0.07	2.85	1.97	5.28	0.00	3.23	2.68	4.35	0.00
2. ヨーグル	2.07	2.48	2.50	0.01	2.91	2.62	1.87	0.06	3.19	3.23	0.30	0.77
3. カレー	4.04	4.09	0.74	0.46	4.01	4.14	1.78	0.08	4.11	4.17	0.76	0.45
4. ビックリマンチョコ	1.45	1.25	2.10	0.04	2.52	2.10	2.77	0.01	3.33	2.95	3.97	0.00
5. よっちゃんイカ	1.74	1.52	1.81	0.07	2.91	2.20	4.39	0.00	3.25	2.91	2.76	0.01
6. うまい棒	2.49	1.59	8.46	0.00	3.59	2.16	12.12	0.00	3.48	2.83	7.63	0.00
7. みそ汁	4.70	4.81	1.93	0.06	4.57	4.84	3.35	0.00	4.02	4.05	0.34	0.73
8. 肉じゃが	3.46	3.76	3.61	0.00	3.85	3.87	0.25	0.80	3.91	3.98	0.76	0.45
9. カール	1.91	1.85	0.68	0.50	3.07	2.57	3.96	0.00	3.33	3.10	2.53	0.01
10. ブタメン	1.61	1.60	0.09	0.93	2.75	1.93	4.48	0.00	3.40	2.69	5.57	0.00
11. きなこ棒	1.66	1.52	1.47	0.14	2.58	2.27	2.13	0.03	3.34	2.92	4.17	0.00
12. ソフト麺	1.73	1.63	0.80	0.43	3.14	2.35	5.08	0.00	3.26	2.90	3.51	0.00
13. チロルチョコ	2.51	1.83	6.09	0.00	3.35	2.66	5.32	0.00	3.70	3.23	5.10	0.00
14. ガム	3.43	2.80	4.41	0.00	3.47	3.53	0.54	0.59	3.46	3.13	3.54	0.00
15. アイスクリーム	4.08	3.98	1.13	0.26	4.13	3.90	2.29	0.02	4.22	4.22	0.00	1.00
16. 揚げパン	1.85	2.20	3.13	0.00	2.93	3.06	0.98	0.33	3.59	3.39	2.11	0.04
17. ナポリタン	2.78	3.11	3.05	0.00	3.05	3.16	0.98	0.33	3.50	3.77	3.07	0.00
18. ポン菓子	1.61	1.61	0.05	0.96	2.57	2.99	3.06	0.00	3.21	3.19	0.26	0.80
19. ベビースターラーメン	2.42	1.56	8.31	0.00	3.33	2.34	7.69	0.00	3.51	2.79	7.93	0.00
20. おにぎり	4.16	4.14	0.23	0.82	4.38	4.40	0.22	0.82	3.91	4.10	2.16	0.03
21. コロッケ	3.69	3.98	3.84	0.00	3.87	4.10	2.80	0.01	3.79	3.97	2.04	0.04
22. ラムネ	2.17	1.73	4.22	0.00	3.08	3.28	1.56	0.12	3.46	3.27	2.01	0.05
23. 水飴	1.50	1.35	1.84	0.07	2.37	2.62	1.93	0.06	3.03	2.95	0.92	0.36
24. 卵焼き	4.04	4.33	3.36	0.00	4.33	4.48	1.67	0.10	3.86	4.15	3.26	0.00
25. 唐揚げ	4.09	3.95	1.63	0.10	4.06	3.52	5.30	0.00	4.25	3.89	3.77	0.00
26. キャラメルコーン	2.18	1.97	1.96	0.05	2.91	2.58	2.65	0.01	3.34	3.25	0.87	0.39
27. ラーメン	4.13	4.06	0.79	0.43	3.91	3.79	1.25	0.21	4.21	3.90	3.51	0.00
28. パピコ	2.48	1.63	6.81	0.00	3.19	2.17	7.60	0.00	3.79	3.17	5.65	0.00
29. スモモ	1.49	1.52	0.31	0.76	2.01	2.16	1.16	0.25	2.99	3.01	0.17	0.87
30. 飴玉	3.26	2.91	2.52	0.01	3.80	3.74	0.42	0.67	3.36	3.13	2.92	0.00
31. 煮物	3.96	4.45	5.86	0.00	4.06	4.51	4.97	0.00	3.75	3.94	2.07	0.04
32. 麩菓子	1.66	1.69	0.32	0.75	2.51	2.81	2.22	0.03	3.03	2.99	0.39	0.70
33. 金平糖	1.61	1.46	1.83	0.07	2.46	2.71	2.08	0.04	3.07	3.02	0.51	0.61
34. クジラ肉	1.39	1.39	0.04	0.97	1.79	3.22	10.24	0.00	3.02	3.26	2.00	0.05
35. せんべい	3.65	4.03	3.73	0.00	3.71	4.15	4.19	0.00	3.59	3.84	3.00	0.00
36. キャラメル	2.37	2.51	1.20	0.23	3.13	3.86	6.66	0.00	3.37	3.42	0.48	0.64
37. パン	4.58	4.86	4.47	0.00	4.49	4.55	0.64	0.52	3.83	3.94	1.39	0.16
38. すき焼き	2.92	3.24	3.41	0.00	3.07	3.26	1.98	0.05	4.12	4.12	0.01	1.00
39. おはぎ	2.31	2.84	5.27	0.00	2.59	3.19	5.85	0.00	3.34	3.82	4.59	0.00
40. ミルメーク	1.45	1.48	0.30	0.76	2.88	2.15	3.91	0.00	3.25	2.89	2.51	0.01
全体平均値	2.66	2.61			2.36	2.63			2.36	2.63		

引用文献

- Jellinek, J. S. (2004). Proust remembered: Has Proust's account of odour-cued autobiographical memory recall really been investigated? *Chemical Senses*, 29, 455-458.
- 牧野 圭子 (2014). 消費者行動研究からみたノスタルジア 楠見 孝(編) なつかしさの心理学—思い出と感情 誠信書房 (pp.41-65)
- 坂井 信之 (2013). 五感と香りの心理メカニズム 嗅覚と匂い・香りの産業利用最前線 NTS (pp.145-154).
- 山本 晃輔 (2008). においによる自伝的記憶の無意図的想起の特性：プルースト現象の日誌法的検討 認知心理学研究, 6, 65-73.
- 山本 晃輔 (2015). 嗅覚と自伝的記憶に関する研究の展望— 想起過程の再考を中心として — 心理学評論, 58, 423-450.
- 山本 晃輔 (2017). 味覚刺激によって無意図的に想起される自伝的記憶の特性 関西心理学会第 129 回大会発表論文集, 35.
- 山本 晃輔 (2018). 食事場面での無意図的想起における性差・世代差 日本発達心理学会第 29 回大会発表論文集(CD-ROM 版).

【謝辞】本研究は、公益財団法人サッポロ生物科学振興財団による研究助成を受けて実施されました。心より感謝致します。